

報道関係者各位

2020年6月11日

ダイワボウ情報システム株式会社

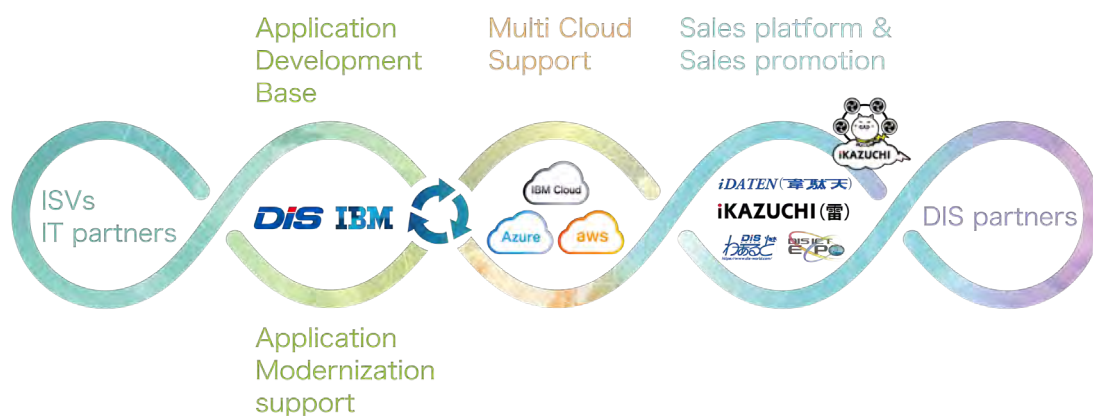
日本アイ・ビー・エム株式会社

**ダイワボウ情報システム、開発系パートナー及びソリューションベンダー向け DX 開発支援を本格化
～IBM Cloud Pak 製品をベースとした「DX アプリ開発環境」を提供開始～**

ダイワボウ情報システム株式会社(大阪市北区、代表取締役社長：松本裕之、以下 DIS)と日本アイ・ビー・エム株式会社(本社：東京都中央区、代表取締役社長執行役員：山口明夫、以下 日本 IBM)は、先進テクノロジーを利用する開発系パートナー及びソリューションベンダー向けに DX (デジタル・トランスフォーメーション) 開発の支援を強化することについて合意しました。これにより DIS は Red Hat OpenShift を含む IBM Cloud Pak 製品をベースとした、マルチクラウド環境での稼働を可能とする「DX アプリ開発環境」の提供を 2020 年 8 月から順次開始いたします。

新型コロナウイルスによるテレワーク活用拡大をはじめとしたニューノーマルと呼ばれる新しい働き方や、今後の事業継続に対応するため、オープンで一貫した IT アーキテクチャによる俊敏性や回復力・柔軟性を備えたデジタル化やクラウド化の実現が、これまで以上のスピード感で求められています。このクラウド化の加速を後押しするために必要な要素の一つは、クラウドネイティブ・アプリケーションの迅速な開発です。

今回、提供を開始する「DX アプリ開発環境」は、IBM Cloud Pak 製品 に含まれる Red Hat OpenShift をベースとしているため、開発系パートナーやソリューションベンダー (ISV) が保有するソリューションのクラウド利用において、クラウドベンダーの仕様に依存しない「一度作れば、どこでも動く」可搬性が実現されます。また、IBM Cloud Paks により、コンテナ化された IBM ミドルウェアと開発および管理用の共通機能を利用できるため、開発から変更、管理、運用が大幅に軽減され、新機能を含めた市場への早期投入が可能となります。



また、DIS は日本 IBM が展開する「DX チャレンジ 2020」の共催企業として、当開発環境の提供支援を行うとともに、参加パートナーの DX 取り組み支援と開発後の販売支援を展開し、パートナー企業同士の協業促進や新たなソリューションの創出、販売機会の拡大に寄与してまいります。

企業はオープンソース・ソフトウェアを使用し、IT のモダナイズ、ハイブリッド/マルチクラウドの採用を加速しています。開発者は、デジタル変革を実現するためコンテナや Kubernetes など最新技術を活用し、クラウドネイティブ・アプリケーションの迅速な開発・展開をサポートできる仕組みの活用を注視しています。「DX アプリ開発環境」においては、迅速なビルド・テスト、および展開が可能な DevSecOps を採用し、継続的なデリバリーによって価値創造を進めています。

■「DX アプリ開発環境」の特徴

「DX アプリ開発環境」は、IBM Cloud Pak for Applications と IBM Cloud Pak for Multicloud Management を活用したコンテナ・アプリケーションの開発環境プラットフォームであり、従来型のアプリケーション開発とは異なるコンテナ技術の活用や、オープンソース・テクノロジーの選定、効率的なデプロイ方法などの開発手法デザインと実装を支援します。開発者は、この環境を利用することにより開発時間を短縮し、マイクロサービスアーキテクチャーのアプリケーションを開発するだけでなく、既存アプリケーションのクラウドネイティブ・アプリケーションへのモダナイゼーションも実現でき、常にこの先進的な環境と進化を享受することが可能になります。

今後、開発環境の提供に加えて、デジタルツールやコンテンツ、Web セミナー等を通じて、ノウハウの情報提供や、開発者を支援するメニューを拡充していきます。DIS は日本 IBM 及び全国のパートナー企業との協業を進め、企業のデジタル・トランスフォーメーションを支援してまいります。

ダイワボウ情報システム株式会社について

DIS は IT 流通を支える国内最大級のディストリビューターとして、国内外約 1,200 社に及ぶメーカー・サプライヤーから仕入れた IT 関連商品を、国内約 19,000 社の販売パートナー様を通じて、全国各地のエンドユーザー様へお届けしております。全国約 90 の営業拠点を擁し地域に密着した営業体制を構築し、「顔の見えるディストリビューター」としてお客様の多様なご要望にお応えすることができます。

URL : <https://www.pc-daiwabo.co.jp/>

日本アイ・ビー・エム株式会社について

世界 175 カ国以上でビジネスを展開する IBM の日本法人で、基礎研究をはじめ、ビジネス・コンサルティングから、IT システムの構築、保守・運用まで一貫したサービスの提供を通じて、お客様の企業変革やデジタル・トランスフォーメーションを支援しています。

URL : <https://www.ibm.com/jp-ja/>

【本件に対するお問い合わせ先】

ダイワボウ情報システム株式会社

情報戦略部 谷水

TEL : 06-4707-8063

E-mail : josen-ka@pc-daiwabo.co.jp

【報道関係者お問い合わせ先】

ダイワボウ情報システム株式会社

人事総務部総務課 長島

TEL : 06-4707-8000

E-mail : webadmin@pc-daiwabo.co.jp

※IBM、IBM ロゴ、ibm.com、IBM Cloud、IBM Watson ならびに Watson は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp.の商標です。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> (US)をご覧ください。